

「なごや 子ども市会」本会議で発表された「各委員会の意見」

子ども議員は、委員会(グループ)ごとに分かれて、施設見学や事前の話し合いをもとに、「なごや 子ども市会」本会議で、サブテーマごとに意見を発表しました。各委員会から発表された意見の一部をご紹介します。

第1委員会

サブテーマ 外国の人たちもくらしやすいまちづくり

私たちは、外国人をサポートすることが大切だと学びました。一つ目は、外国人に一人一人が向き合って、話をすることが大事です。二つ目は、国際センターのような施設が必要です。それを助けるボランティアも必要だということが分かりました。



第2委員会

サブテーマ いのちを大切に、思いやりのあるまちづくり

私たちは、管理棟に保護されている、元の飼い主や新しい飼い主を待つ犬や猫と、犬や猫を殺処分する機械を見ました。殺処分される犬や猫を救うには一人一人の努力が必要です。また、愛護館では飼育されている動物たちと触れ合いました。



第3委員会

サブテーマ 科学の楽しさを身近に感じ、豊かな発想を育むまちづくり

お客様のために学芸員の人たちのたくさんの方の努力があること、障害のある方やさまざまな世代の人たちに対応できるように、お客様のことを考え、展示の仕方や内容を変えていて、また「ここに来たい」という気持ちになる工夫がされていることが分かりました。



第4委員会

サブテーマ 自然に親しみ、生き物を大事にするまちづくり

たくさんの種類の植物の実や花を見て、一つの物だと思っていた果物にもいろいろな種類があり、驚きました。さらに、育てている人の苦労や工夫が分かりました。また、アセロラはゼリーなどで給食に出ていて身近だと思っていましたが、花や実が貴重だと分かり、ぜいたくだなと思いました。



第5委員会

サブテーマ 水やエネルギーを大事にするまちづくり

下水道について、微生物を使って水をきれいにしていることが分かりました。安心面について、安心して飲めるようないろいろな人が関わっていることが分かりました。災害面について、災害に備えて給水タンク車や地下式給水栓などに工夫がしてあることが分かりました。



第6委員会

サブテーマ 安全で安心してくらすことができるまちづくり

消防航空隊、警察、消防署が協力して、けが人のことを一番に考え、行動していることが分かりました。ヘリコプターを実際に見学し、そのすごい能力におどろき、この能力をしっかり維持・活用することが大切だと考えました。しかし、名古屋市内で起こった火災の件数は年間661件と、とても多く、市民一人一人の予防が大切だと思いました。



子ども議員のみなさんを対象にしたアンケートでいただいた意見の一部をご紹介します

- 施設見学で、普段できないことができたり、見られないものが見られた。
- 議長・副議長に立候補する人が多く、積極的に取り組む姿勢に刺激を受けた。
- まるで本当の会議のようにできてうれしかった。もう一度やってみたくなった。
- 市会議員の人たちが普段どのような仕事をしているかが分かり、興味を持った。
- 話し合いの日や時間をもっと増やしたほうがいいと思う。
- なごや子ども市会に参加して、将来に役立つような体験ができて光栄だった。
- ほかの学校の子と友達になれてうれしかった。来年もやってほしい。

名古屋市会の本会議・委員会を傍聴しよう

本会議を傍聴したい方は、本会議の当日、市役所本庁舎1階の一般傍聴用階段を上って、3階の傍聴席入口(車いすの方はエレベーターを利用し、本庁舎3階の車いす用傍聴席入口)で、傍聴券を受け取ってください。

委員会を傍聴したい方は、委員会の当日、東庁舎2階の市会事務局議事課で、傍聴許可証を受け取ってください。